

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1.基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F113310103518
大学名	東京都市大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	東京都
大学全体の総収容定員数	6,670 名 ※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	理工学部（機械工学科、機械システム工学科、電気電子通信工学科、医用工学科、応用化学科、原子力安全工学科、自然科学科）、建築都市デザイン学部（建築学科、都市工学科）、情報工学部（情報科学科、知能情報工学科）、環境学部（環境創生学科、環境経営システム学科）、メディア情報学部（社会メディア学科、情報システム学科）、デザイン・データ科学部（デザイン・データ科学科）、都市生活学部（都市生活学科）、人間科学部（人間科学科）		

2.事業概要

サイバー空間とフィジカル空間を融合するためのデジタルトランスフォーメーション（DX）を理解し運用できる知識・能力を持ち、一人ひとりの多様な幸せを実現するための社会課題を解決できる人材を育成するために、非理工系分野のみならず、伝統的な工学分野も加えた学生定員の一部を転換して、特定成長分野をけん引するデジタル理工学部を令和9年度に開設予定である。既設学部の学生については新設学部とのダブルメジャー制を設けることにより、大学を挙げて特定成長分野に対応した人材を輩出する計画である。ラボベース教育を中心としたSTEM科目、オンライン教材などを活用したアクティブラーニングによるリベラルアーツ科目、各学年に配当するデザイン思考・システム思考などを取り入れたPBLによる統合型学習科目を特色とした体系的なカリキュラムを編成する。DXを活用した共創により、専門分野をつなぎ実装する社会変革の力を育成するための実践的DX共創教育拠点の設置など、新しい教育研究環境を構築する。
--

3.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度
認可申請・届出予定	令和8年度
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名	デジタル理工学部 デジタル理工学科
設置等組織の学位分野	工学関係
当該学部等の所在地	東京都世田谷区
入学定員	200 名
収容定員	800 名
入学定員の増加数	200 名
他学部等の入学定員の減少数	200 名

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

基本情報

改組予定年度：令和9年度
改組内容：学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名：デジタル理工学部 デジタル理工学科
入学定員：【R9新設】200名
所在地：東京都世田谷区

新設学部のコンセプト・特長

- ◆ 非理工系分野のみならず、伝統的な工学分野も加えた学生定員の一部を**特定成長分野の教育に転換**。
- ◆ 既設学部の学生には新設学部との**ダブルメジャー制**を設け、**大学を挙げて特定成長分野に対応した人材を輩出**。

設置構想の事前協議

- ◆ 本学とのつながりが深い産・学と設置構想の事前協議。

教育課程の編成

- ◆ 人材のニーズ調査を行い、バックカastingして産業界を含む**社会のニーズ等を反映させた3つのポリシー**を策定し、国際的相互認証である**JABEE認定の知見を活用**して教育課程を編成。
- ◆ 教育課程の編成についてアドバイザー委員による助言。（フェーズ1）

新設学部の教育内容

- ◆ オンライン教材やアクティブラーニングによる**リベラルアーツ科目**や**STEM科目**を重視、各学年に配当する**PBLによる統合型学習科目**を特色とした**体系的なカリキュラム**を編成。
- ◆ 英語によるコミュニケーション能力を重視。

実務家教員

- ◆ 実務家教員を積極的に登用。
- ◆ 本学卒業の企業経営者や実務経験者による特別講義などを実施。

入学者選抜

- ◆ 総合型選抜では**理系女子枠を設定**。学際探究入試により多様な志願者に対して資質・能力を適切に評価。
- ◆ 既設のデジタル人材育成学部においても十分な学生確保実績あり。

育成する人材像

- ◆ **DXを理解し運用できる知識・能力を持ち、一人ひとりの多様な幸せを実現するための社会課題を解決できる人材**

教育研究設備の整備

- ◆ 実践的DX共創教育研究拠点の設置。

教育成果管理

- ◆ PBL授業の管理機能を強化した学習管理システムの導入。
- ◆ 学生アンケートの継続実施による教育効果測定・フォローアップと外部有識者による評価と助言。（フェーズ3）

他大学との連携

- ◆ オンライン学習環境を活用し、協定大学に**教育コンテンツや講義を提供**し連携を推進。
- ◆ 交換留学プログラム等により、**海外大学との連携を構築**。

外部資金

- ◆ 目標値まで外部資金獲得を強化。（フェーズ3終了時まで）

